

これから。
きつと、もつと、
FUKUOKA
シルバー
だより

CONTENTS

特集	街頭キャンペーン・ シルバーフェスティバル2011	1
	支部通信／就業先情報（博多区）	4
	会議開催状況	14
	独自事業紹介	15
	事業実績／事故発生状況	17
	互助会だより	19
	歴史散歩（東区）	21
	会員のひろば	22
	大事なお知らせ／事務局からのお知らせ／ 編集後記	裏表紙



大濠公園のイルミネーション（博多支部 森本 雪子）

（社）福岡市シルバー人材センター

街頭キャンペーンを行いました

10月の普及啓発促進月間に合わせて、各区主要箇所ではパンフレットやグッズを配布し、道行く人にシルバー人材センターのPRをしました。

東

支部

10月15日(土)午前、JR箱崎・千早・香椎駅前や駅前商店街で、普及啓発活動の一環としてのパンフレット配布を行いました。

会員48名が3駅に分かれ、往来する市民に「宜しくお願いします」と手渡し、シルバー人材センターの就業開拓や認知度アップに普及啓発活動を行いました。



広報委員 安武 和芳

博多

支部

博多支部では、10月30日(日)の恒例「まつりはかた2011」において街頭キャンペーンを行う予定でしたが、当日は雨で中止となりました。

そのため、11月13日(日)午前10時～11時に博多駅を中心として街頭キャンペーンを行いました。博多口に10名・筑紫口も10名の会員が、道行く人にパンフレットを配布し併せて内容についても説明しました。

この日に用意したパンフレットを多くの人々に読んでいただき、シルバー人材センターの街頭キャンペーンは大きな成果を挙げたところです。



広報委員 松井 洋治

中央

支部

- 実施日時 10月15日(土)11時～12時
- 実施場所 唐人町駐輪場周辺／六本松駐輪場周辺／西鉄平尾駅周辺／西鉄薬院駅ビル前周辺
- 参加人数 20名

4地区の場所で、道行く人に、笑顔でパンフレットやウェットティッシュを



渡しながら、シルバー人材センターのPRを実施しました。恒例になった街頭キャンペーンも、年々その効果を増しています。



広報委員 井手上 勉

南

支部

- 実施日時 10月14日(金)10時～11時
- 実施場所 大橋駅東口と西口、高宮駅周辺
- 参加人数 35名

「シルバー人材センター南支部です。仕事のご依頼を頂くよう、頑張っています。パンフレットをお渡ししますので、ご覧ください。よろしく



お願いします。」参加者が多数だったのでPRも大成功でした。



広報委員 高濱 一郎

城南

支部

- 実施日時 10月15日(土)10時30分～12時
- 実施場所 七隈サニー周辺、別府西鉄ストア周辺、東油山マルキョウ周辺



街頭キャンペーンには20名が参加、道行く人にパンフレットを手渡したり、話しかけるなどしてセンターをアピールしました。



広報委員 藤 勇三

早良

支部

- 実施日時 10月6日(木)10時～12時
- 参加人数 24名

当日は秋晴れの好天に恵まれて、支部会員の皆さんは人の流れの多い地下鉄西新駅周辺4箇所・藤崎駅前・室見駅前の6箇所で、赤い法被を着て一斉に街頭キャンペーンを行いました。ウェットティッシュ入りパンフレットを受け取った方



からは、「剪定はお願いできますか」「子どもの面倒は見ていただけるでしょうか」等の問い合わせがありました。

広報委員 高橋 勉

西

支部

- 実施日時 10月15日(土) 10時～12時
- 実施場所 姪浜駅周辺、ウエストコート周辺、九大学研都市駅側のイオン周辺の3箇所
- 参加人数 25名

前日の大雨と、当日曇り空だったせいからお客様もまばらでした。

行き交う人にウェットティッシュ入りのパンフレットを渡すと、反応は三人三様でしたが、皆さんの頑張りで成果があったと思います。



広報委員 瀧川 秀一

シルバーフェスティバル 2017

10月22日・23日に、『シルバーフェスティバル 2017』が開催されました。福岡県下のセンターとともに、シルバー人材センターをより多くの人に知ってもらうため、さまざまな催しや販売を通してPRを行いました。

当センターは、今年も『筆耕（のし袋書き実演）』・『シルバーギャラリー（手芸品・竹とんぼ展示販売）』・『シルバー農園（農作物（さつま芋と里芋）販売）』で参加し、雨模様の天気にもかかわらず、多くの方々に足を止めてもらい、大盛況の2日間でした。

多くの皆様にご参加・ご協力いただき、ありがとうございました。



支部通信

東

支部

ひがししづ

ふれあい日帰りバス旅行



東支部では11月9日・10日の両日2班に分かれて「サッポロビール工場見学と錦秋の九重路夢吊り大橋」バスの旅を実施しました。人気の旅行に一時空席待ちも出る始末。日頃の時間を脇に置いて、今日一日は心も軽く身も軽く楽しい旅行に出かけました。仕事仲間やお友達、隣に座って友達に、ふれあい旅行のいいところ。まずはサッポロビール工場見学の試飲ではろ酔い、天ヶ瀬温泉での昼食、カラオケ、お湯に酔い、九重夢吊り大橋の揺れに酔い、バス酔いする間もなくおしゃべりと買い物で楽しく愉快な一日でした。両日とも空模様が心配されましたが、何とか天候も持ち堪え錦秋には今一つでしたが、和気藹々の上機嫌で九重路を満喫することが出来ました。(来年は何処？楽しみで～す) 写真は旅行先の九重夢吊り大橋です。

Fukuoka 東区花火大会と 清掃活動

秋も深まる10月15日夜、東区香椎浜海岸で花火大会が挙行されました。台風の影響で2度に亘り延期され一時は中止の声もありました



が、市民の期待に応えて実施され、7,700発の打ち上げ花火に8万人(主催者発表)の観客もウツトリ。例年より1ヶ月半遅れの大会にゆかた姿はありませんでしたが、空には中秋の月も冴えて「花火の色もクッキリときれいだねえ」。クライマックスの大玉連発に拍手と歓声が夜空にこだまして「秋の花火もいいなあ」。翌朝は会員30名ほどが集まり、地域貢献の一環で花火の後清掃ボランティア活動で塵芥集めに汗を流しました。

広報委員 安武 和芳

博多

支部

はかたしづ

東吉塚地域懇談会を開催



10月5日（水）10時より東吉塚公民館で東吉塚地域懇談会が開催され、当日は小雨が降っていましたが27名の会員が出席しました。

坂井委員長の挨拶として、本日は地域懇談会にご出席頂きまして、有難うございました。博多支部には27の地域がありますが、毎月1～2回程度開催しており、現在までに約半分ほど実施したところです。他にもいろいろな会議や会合がありますが、地域懇談会は地域の皆様のご意見や提案など聞く場として、大変大事なものと思っています。

支部の状況について申し上げますと、法律の改正でセンターは新しく公益社団法人の認定を受ける必要があります。そのため、規則や規約の見直しをしています。たとえば、就業会員の日数・時間等の調整あるいは運転業務（送迎）の廃止をしています。一方、公共部門の契約が増加しており、支部全体の事業量は昨年より増えています。今後も頑張っていきたいと思っています、と話がありました。

続いて、倉岡副委員長から地域会員の就業状況の説明がありました。

8月末の地域会員就業率は、

- ・男性の支部就業率は56.6%

東吉塚地域は58.3%

- ・女性の支部就業率は57.5%

東吉塚地域は60.0%

- ・支部全体就業率は57.0%

東吉塚地域は58.8%

東吉塚地域の就業率は、男女とも支部平均より高くお元気で頑張っていることに感謝していると説明がありました。

松尾安全担当から高齢者の交通事故防止ポイントについては、明るい服装と反射材を身に着けて交通事故を防止されるよう話がありました。

また、質疑では会員から種々の質問や要望・提案が出され、それぞれの問題について坂井委員長から説明があり懇談会は終了しました。

恒例の親睦旅行



今年の親睦旅行は、由布市の湯布院温泉になりました。前班は10月9日（日）、後班は10月12日（水）の2班に分けて開催されました。

前班の10月9日は83名の参加があり、大型バス2台で午前8時に博多支部前を出発し、当日は快晴の好天気で、秋を満喫できる旅行日和となりました。

参加者は久しぶりに見る顔に『あなた、元気やった？』と笑顔の挨拶や由布院温泉・観光地の話にはずんでいました。

コースは日田市のサッポロビール工場見学とビールの試飲に元気づけられて、昼頃に湯布院の『ホテル山水館』に到着し間もなく親睦会が始まりました。

宴会に用意されたお料理とカラオケを交えて楽しい盛り上がりで、2時間ほどで親睦会はお開きとなりました。また、露天風呂を楽しんだ美男美女は、満面の笑みを浮かべながらホテルを出発しました。途中、「菓子工房五右衛門」に立ち寄りケーキなどを買い求め、午後5時頃に博多支部前に帰着しました。

後班の10月12日も秋晴れのさわやかな日となり、大型バス1台に45名の参加を得て前班と同様に久しぶりの楽しい親睦旅行とご好評をいただきました。今回、参加者皆様のご協力によって合計128名の親睦旅行が、盛会で無事に終了したことに感謝いたします。

女性会員の集い



11月6日（日）10時から長生園講堂で、博多支部『女性会員の集い』が開催され女性会員75名が出席しました。

原副委員長の開会の言葉として、「本日は雨の中、女性会員の集いに多数ご参加いただき、お礼申し上げます。会員の皆さんが就業されているお仕事も大事ですが、就業しながら仲間づくりも楽しんでいただきたい」と挨拶がありました。

続いて、坂井委員長の挨拶や田中理事からは「女性会員のおだやかさ・心くばり等を通じて、様々なことに活かしていただくことを期待しています」と話がありました。

午後の部では、会員による歌や踊りも披露されて、出演者に大きな拍手が送られました。

最後に「元気に100歳音頭」を全員で踊って、楽しい一日を過ごすことが出来ました。

広報委員 松井 洋治

中央

支部 ちゅうおうしぶ

すのこ
**簗子・大名校区
地域懇談会開催**

10月3日（月）午前10時から簗子公民館で15名が参加し、高安（簗子）占部（大名）両地域班長の司会進行で開催されました。



1. 江口委員長挨拶

地域懇談会の進め方について、今年はマンネリ化したやり方を改め出向いて懇談することとしております。

懇談会では未就業の方の状況を把握したいと考えております。

続いて配分金実績報告が資料により説明が行われました。

2. 首藤安全担当から安全就業について報告があり、「安全は一声かけるゆとりから！」の標語を遵守してほしい。また、健康診断未受診者の方は早めに受診され、安全・適正就業をしていただきたいと要望がありました。

3. 出席者自己紹介のあと、意見交換と質疑応答があり主な内容を紹介しますと

○新人研修で就業条件をきちんと伝えてほしい。

○チームリーダーは就業マニュアルをしっかり指導してほしい。

○剪定、筆耕、家事援助サービスは永年の経験が必要で、後継者が育成されるまで就業年限を延長するなどの考慮が必要ではないか。

○地域懇談会が今までと比較して地域らしい集いになり、親しみやすくなった。

これらの意見に対し江口委員長から「就業年限延長については的を得たご意見ではありますが、就業年限は定められた基準どおりになると考えてください。」と応答がありました。

その他連絡事項があり閉会しました。

役員会開催



10月28日（金）午前10時から中央支部会議室で29名が出席し役員会が開催されました。

1. 江口委員長の挨拶

（1）公益社団法人認定申請に向けた条件整備、各支部での安全就業の自主点検の徹底と問題点の改善に取り組んでいる。

（2）役員候補者推薦委員と専任担当理事選考方法について資料により説明。

なお、中央支部でも区選挙管理委員5名が選出され役員会で承認された。

（3）シルバー保険のうち、賠償責任保険は就業中に発生した損害は保証されるが、就業途上は原則として対象外である。

続いて配分金実績報告が資料により行われました。

2. 北理事からは公園除草作業の現状報告があり、安全就業は安全性の向上とその品質が問われると説明がありました。

3. 首藤安全担当からは事故発生状況報告と配布された資料により「食事バランスガイド」の説明がありました。

4. その他、連絡事項と副委員長交替について樋口前副委員長から瓜生副委員長が新任されたことが報告されました。

広報委員 井手上 勉

南

支部

みなみしづ

地域懇談会報告

— 友愛・協調・発展 —



（西高宮校区・大楠校区・玉川校区・塩原校区）

雨降りしきる中、9月20日（火）午前10時より玉川公民館で、矢口委員長、江口・内山両副委員長、帯金就業開拓担当ほか37名が参加して地域懇談会が開催されました。開会の挨拶後、委員長より次の議題について詳しい説明がありました。

1. 南支部の現状と将来

（1）配分金の実績（7月末現在）

配分金実績は7,922万円

（2）会員数（7月末現在）

全市	7,201人
南支部 男性	744人（前年比－9）
女性	343人（前年比±0）

（3）新規入会者数（8月末現在）

全市	新規入会者数	110人
	退会者数	88人
南支部	新規入会者数	16人
	（男性14人、女性2人）	
	退会者数	15人
	（男性5人、女性10人）	

（4）就業率（7月末現在）

男性 50.8% 女性 55.1%
前年度に比べて、就業率は3%下降しています。

(5) 事故の発生状況（前年7月末累計比）

全市の事故件数 23 件数のうち、南支部は 4 件である。

傷害事故 1 件（前年比 - 2）

賠償事故 1 件（前年比 - 1）

自動車事故 2 件（前年比 - 1）

今年度から運転業務（送迎）が廃止になったために、自動車事故件数が少なくなりました。

2. 就業先開拓・地域との共存について、帯金担当から説明がありました。

年々、日本の経済は不況になり、公共機関や企業関係を訪問しますが門前払いを食らうことが多いです。今や企業は若手社員を使って、新しい市場開拓の道を切り開くのに必死です。例えば、高齢者対象の福祉・家事援助サービス、剪定や刈払、除草等にも参入しています。私たちにできることは 3 点あると思います。①皆さんの地域にある企業や会社、家庭にチラシを配布すること。②あらゆる会合の中で、地域の代表の方（民生委員・ボランティア関係：老人クラブ）などを紹介してほしいこと。③地域独特の自主事業を開催すること。例えば「井尻商店街」の空き店舗を利用して、手芸、料理、農産物の販売。農園づくり等が考えられます。

3. 支部への要望・意見交換について

①会員間のふれあいを増すように、地区別（少人数）の話し合いが欲しい。

②家事援助班は、自分で判断することが多いので会員相互の連絡を密にすることが大切。

③駐輪場ではお客様に対して、笑顔と親切を大切に頑張っています。

④「シルバーだより」についての感想やご意見。会員のひろばへの投稿の依頼。

毎年、行われる地域懇談会は、支部からの出前出張という名目で実施されています。ややもすると支部からの要望や伝達になりがちでした。今年度は多くの参加者を得るように、支部と地域班長が中心に電話等による参加要請をしました。お陰で例年になく大盛況でした。今回は自己紹介を通して、忌憚のない声を聞くこと

ができました。

4. 連絡事項

今後の互助会行事予定と南支部の行事予定、さらに「シルバースフェスティバル 2011」への参加依頼の連絡がありました。

最後に、地域班長より無事に終了したお礼の挨拶があり散会しました。

日帰り親睦旅行 — 日田温泉と秋の味覚の旅 —



慣例の日帰り旅行には参加者が多く、2 台で出発する予定でしたが、観光バスの確保が出来ず、9 月 27 日と 10 月 6 日の 2 回にわたって実施しました。

9 月 27 日、43 名を乗せたバスは 8 時に日田温泉方面へ向かって出発しました。

（旅行日程）

西鉄大橋駅東口（8:00）→高速道→（9:00）大刀洗平和記念館→（10:00）ちくご手作り村→（11:30）日田温泉（昼食・入浴）→（14:45）浮羽フルーツ狩り→（16:00）道の駅うきは→高速道→（17:00）西鉄大橋駅東口

大刀洗平和記念館は、平和の大切さを語り継ぐ情報発信基地として、平成 21 年 10 月に開館しました。館内に入ると、大刀洗飛行場の概要、役割、歴史の紹介が列挙され、空襲、特攻という痛ましい事実を伝えています。中でも、若い特攻隊員たちが両親宛てた遺書や内容に胸を打たれました。

九州自然王国「ちくご手づくり村」は、創業百余年の歴史薫る麺どころです。〃水も空気も麺も美味い〃がキャッチフレーズです。古くか



ら米・麦の実りが豊かな筑後平野を舞台に、自然と調和し、伝統の味を失うことなく、新しい手づくり麺の創作に取り組んだ百年の歴史の賜物だからです。工場を巡回しますと、インスタントラーメン工場や乾めん工場、生めん工場がありました。他に「手打ち麺体験教室」では、地元住民だけでなく、団体客を対象に実施されています。

日田は古くから「水郷（すいきょう）」と呼ばれるほど、水資源に恵まれた地です。私たちが立ち寄った温泉宿「亀山亭ホテル」は、屋形船と鵜飼いを楽しめます。日田温泉は単純泉で、リウマチ、神経痛、疲労回復、ストレス解消等に効果があるといわれます。昼食後、添乗員の方から「時間がたっぷりありますのでご自由に過ごしてください」とのことでした。入浴後は大広間に設置されたカラオケを利用して歌ったり、ダンスに興じて楽しんでいました。会員は「こんなに皆さんが意気投合された姿を見たことはありません。まさに会員同志の親睦に値しますね」と、喜色満面でした。

浮羽フルーツ狩りは、今が旬という新高梨狩りです。梨園に入ると急ぎ足で大きな梨をもぎ取る方、箱詰めの梨を自宅や友人に郵送される方も見られました。

「道の駅うきは」は、北海道産の海産物や浮羽産の採れたて農産物が店頭を賑わしていました。お財布と相談しながらたくさん買っていました。

旅行をするときは、道連れのあるのが何よりも楽しいことです。いろはがるたの一つに、「旅は道連れ世は情け」と、昔の人は謳（うた）っています。

最後に参加者の方々の協力により、今回も事故ひとつなく無事に終了しました。旅行計画に尽力いただいた支部担当者の方にお礼と感謝を申し上げます。

広報委員 高濱 一郎

城南

支部 じょうなんしぶ

お客様からの一言コメント

先般、「お客様満足度調査」が実施されましたが、城南区のお客様から寄せられた意見、コメントは次のとおりです。（原文まま）

- ◎剪定は経験を積んだ人を寄越して下さい。
- ◎良心的な仕事をしてもらいました。
- ◎猛暑の中、一生懸命に下さってありがとうございました。
- ◎本当に丁寧に仕事をやっていただき、ありがとうございました。
- ◎庭木をどうやって扱えばいいのかのアドバイスを受け、思い切って剪定してもらいました。お陰ですっきりしました。
- ◎大変丁寧なお仕事をしていただき、感謝しております。
- ◎暑い中、がんばってくださいました。
- ◎自分でできないので有り難く思っています。
- ◎作業のご担当者様の細かい心くばりに大変感謝しております。本当にありがとうございました。
- ◎気持ち良くきれいにしていただいています。ありがとう。
- ◎希望どおり、それ以上の仕事の出来でした。態度も良好。
- ◎皆さん良い方ばかりで、暑い中を作業してもらって助かりました。ありがとうございました。
- ◎夏、暑い中をありがとうございました。
- ◎遠隔地に住んでいますので助かります。
- ◎いつも丁寧な仕事ぶりです。とても助かっています。これからも利用させていただきます。

- ◎いつもありがとうございます。
- ◎剪定の時、見積もりに来て欲しい。
- ◎よく調べないで物事を運ぶ。
- ◎仕事は短時間で終わるのに、交通費がかかるのは支払う金額からみて割高に感じる。
- ◎依頼して少し時間がかかり過ぎではないでしょうか。

圧倒的に感謝やお褒めの言葉が多い中、ご意見やお叱りの言葉もありました。ご意見には耳を傾け、お叱りの言葉を肝に銘じ、またお褒めの言葉は励みにして今後とも仕事に取り組みましょう。

筆耕班、手芸サークルが シルバーフェスティバルに参加

「シルバーフェスティバル 2011」が、10月22日（土）と23日（日）、小雨模様の早良区百道浜・RKB放送会館前広場で開かれました。城南区からは筆耕班から2名、手芸サークルの会員12名が参加して会場を盛り上げました。



のし袋に表書をする筆耕班会員



手作りの作品を販売する手芸サークル会メンバー

広報委員 藤 勇三

早良

支部

さわらしぶ

「地域班長会議」を開催



10月21日（金）の午後に、「地域班長会議」が五島委員長・斉藤理事をはじめ地域班長27名が出席して、井上副委員長の司会進行で開催されました。

先ず、五島委員長から次のような話がありました。

（要旨）

- 大原Ⅱ地区の班長交代
大多和広行会員→関本孝一会員
- 今年度から「地域懇談会」を、各地域2年に1度実施する（昨年度までは2年半に1度）。
- 4月～9月の配分金は、今年4月からの運転業務廃止にもかかわらず、対前年比105.2%と予想を大きく上回り、市全体の103.1%をも上回った。
- 4月～9月の平均就業率は58.7%で、市全体の55.0%を3.7%上回っている。
- 4月～9月の事故は、市全体では47件から34件と13件減っているが、早良支部では5件で前年と同数である。賠償事故と自動車事故は減っているが、傷害事故は増加している。
- 会員の親睦旅行を11月16日～18日の3日に分けて実施する。

次に、斉藤理事から南支部・井尻駐輪場での親切な接遇に対して、お客様から届いた感謝の手紙が紹介されました。

最後に、質疑応答があり散会しました。

「女性会員の集い」開催 — “葬儀” について聞く —



平成 23 年度の「女性会員の集い」が、9 月 16 日（金）10 時から早良市民センターで 94 名が参加して開催されました。

まず、五島委員長の支部及び全市の概況説明に続いて、井上理事の挨拶がありました。又、塩野副委員長からは、家事援助サービス班の事業計画についての説明がありました。

休憩を挟んで、総合葬祭業の野口宣夫氏から、「知って得する葬儀の豆知識」のテーマで講演がありました。その要旨は次の通りです。

○少子化あるいは近所付き合いの希薄等の環境変化で、「自分の見送りは自分で考える」ようになって来ている。

○家の宗派・宗教等を確認する。

○前もって、自分の意思表示をはっきり残して置く（葬儀の形式・規模・会場等）。

○福岡市内の葬祭施設の割合は日本一であり、ほとんどの葬儀はこの葬祭施設を使っている。

○現在は身内だけで執り行う「家族葬」が多くなっている。

○消費者センターの資料によると、葬儀料金は 230 万円～ 250 万円であり、その内訳として葬式の基本料金 155 万円・料理関係 30 万円・寺関係 30 万円～ 50 万円等である。

○病院・老健施設で亡くなり、葬祭施設で葬儀を行うケースが多く



なっている。

○葬儀の流れは、病院等→葬儀社に連絡→葬儀会館に安置→寺と日時決め→葬儀社との打合わせ→納棺→通夜→葬儀→火葬→初七日法要 となる。

○準備しておくものは、①住所・本籍のメモ（故人・届出人とも）②印鑑（届出人のもの）③遺影用写真 1 枚④現金…火葬料 2 万円＋控室料 5 千円＋手持ちとして 100 万円位必要である。

○故人名義の預金口座は死亡した事が判った時点で一旦封鎖されて、出金まで時間を要する場合があるので現金を準備して置く。

○最近、墓として納骨堂が増えている。

身近な問題であり、熱心に聞き入り、大変多くの質問がありました。

広報委員 高橋 勉

西

支部

にししふ

合同地域懇談会開催



9 月 20 日（火）に、西区「姪浜・姪浜南・愛宕・愛宕浜・能古」地区の合同地域懇談会が、支部会議室で開催されました。

桑野副委員長の司会で、岡崎委員長代行の挨拶の後、出席者の自己紹介があり、各担当より議題に沿って、説明がありました。

まず、岡崎委員長代行から支部の現状（会員動向、業績推移、公益法人化）について、詳しく説明がありました。

①「支部の会員動向」について（8 月末現在）

福岡全市の会員数は 7,189 名で、支部会員は

1,117名（対全市占率15.5%）です。

②「支部の業績（4月～8月）」について

駐輪場管理業務の復活が寄与して、業績全体を押し上げています。又、家事援助・福祉サービス・子育て支援がかなり上位にランクされてきて、全体では123%と高い伸展で推移しています。

③「公益法人化」について

平成24年4月からの公益法人化へ向け、諸分野において実態調査中であり、又、同時に適正就業・就業年限基準等についての説明もありました。

続いて、井上理事から挨拶と担当職務についての説明がありました。会員・家族が健康である為には、定期健康診断（＝予防医療）が重要である事と高齢者交通事故防止の為に、交通ルールを守るとは当然で、特に死亡事故原因第一位の道路の斜め横断は厳禁ですとの話もありました。

鈴川安全担当からは、ルールを守って安全・適正就業に努めて下さい、特に安全就業基準については、会員手帳を一度確認して下さいと話がありました。シルバー保険の補償内容（傷害補償・賠償責任補償）についての説明もありました。

桑野就業開拓担当からは、新規開拓は、主に公共機関・老健センター・産婦人科医院・民間企業を中心に既取引先への定期訪問及び深耕活動に取り組んでいますと話があり、パンフレットを3部ずつ配布して会員の皆さんにも協力を依頼していました。

その後、同じ地域の懇談が始まり、一層の親睦が深まり、シルバー活動にも活かされることでしょう。

福祉家事援助班全体会議開催

10月6日（木）午後、支部会議室で福祉家事援助班全体会議が開催されました。

金子家事援助サービス班長の司会で、岡崎委員長代行の挨拶の後、就業開拓について桑野就業開拓担当、安全適正就業について鈴川安全担



当、就業に当たっての心得等について井上理事より説明がありました。

伊藤家事援助担当からは、受注内容一覧表での確認と学習のほか、家事援助班の現状と課題について説明がありました。

会員体験発表では、福祉サービスで内田公子会員、家事支援で山崎照美会員、子育て支援では鎌倉頼子会員と藤村節子会員が、日頃の悩み・苦勞・喜び・仕事への熱意を発表し、責任感を持つての活躍の様子に皆さんが大変感銘していました。

その他質疑応答のあと、和嶋家事援助サービス班リーダーの閉会の言葉で終了しました。

「田嶋みのるギターバンド」を取材して

駐輪場管理業務に就業している会員で作られている「田嶋みのるギターバンド」があります。

10月9日の日曜日、西区拾六町の秋の演芸大会にボランティアで参加したその時の1コマを紹介します。

当日は、カラオケ部も合流しました。

その日は、朝から秋晴れで、会場にはテントが張られ模擬店もあり、ラムネ・ヨーヨー・ポテトチップス等が売られていました。勿論ビールもありました。

会場は窓枠を外し、急遽ステージの設定となっていました。

今回は一回目で、主催者は準備に大変ご苦勞されたとの事でした。会場はおおよそ60名位の来場でした。各出演者の演技を紹介致します。

先ずは、T会員がオカリナで出演、仕事に勝るとも劣らない素晴らしい演奏でした。風の音



や、こどもたちの元気な声にも負けないほどの熱演に、隣の人は「上を向いて歩こう」の曲の時にはじっと聴き入り、口ずさんでおられました。

次に西区のサブちゃんことKさん。拾六町のサブちゃんと言う紹介に一瞬戸惑いが…。しかし元気な第一声で会場は一瞬静まりかえり、カラオケ部が誇る元気者のステージ姿に視線が

走った。サブちゃんは、カラオケ部の献身的な世話人だそうです。

次にメンバーの柱であるTさんは、ネオン川・黒い花びら…等の懐かしい曲を披露し、本人のバックでテレビにも出演したという豊富な経験者です。

企画し苦勞されたKさんは、持論としてボランティア活動とは…「してあげていると言う態度は禁物で、お互い楽しみましようの気持ち・行動が絶対必要。」と言われていました。

バンド演奏もカラオケ部の歌も実に堂々として、この大会の主演として責を全うし、来場者全員の五感に訴えられたとご満足の様子でした。この様なパワーが益々駐輪場管理業務に活かされる事でしょう。

広報委員 瀧川 秀一

博多区

はかたく



しんかい
新飼

きよと
清人様



新飼様のご自宅は博多区麦野にあり、訪問してお話を伺いました。

「私は昭和 25 年から現在地に住み、当時からたくさんの樹木やつつじ等を植えて美しい庭を作ってきました。松の木が4本もあって手入れも大変でしたが、今は残っていません。

除草や樹木の消毒も自分で噴霧器などを使って手入れしていました。その後、私の

体調が思わしくなくなり、次第に樹木を減らしてきました。

現在は、残っている樹木の剪定を年2回ほどシルバー人材センターにお願いしています。

また、毎月、庭や家の周囲の除草もお願いしています。

毎月、除草に見える方は 60 歳を過ぎておられますが、暑さや寒さに負けずきれいに除草してくださるので感謝しています。

私自身も介護認定を受けており自由に体が動かないので、作業をしている同年輩の皆さんを見ると『もう、いいよ』と声をかけて労をねぎらっています」と、にこやかに話をしていただきました。

取材後、庭を拝見しましたが、本当に手入れが行き届いている良い庭でした。

ここにも、就業されている皆さんの汗と頑張りが目に見える形で残っているような気がしつつ、帰路に着きました。

広報委員 松井 洋治

平成23年度会議開催状況(10月～11月)

●理事会

回	開催月日	議案
8	10月26日(水)	・正会員の入会について ・公益社団法人移行の移行当初の副理事長について
9	11月24日(木)	・正会員の入会について ・公益認定申請に伴う書面評決について

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
7	10月19日(水)	・未収金対策について ・公益社団法人移行の移行当初の副理事長について ・シルバー人材センター事業の適正な運営の徹底について
8	11月16日(水)	・未収金対策について ・公益認定申請に伴う書面評決について ・平成24年度予算スケジュールについて

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
6	10月21日(金)	・平成23年度普及啓発活動について ・公益社団法人移行の移行当初の副理事長について ・シルバー人材センター事業の適正な運営の徹底について
7	11月18日(金)	・公益認定申請に伴う書面評決について ・平成24年度予算スケジュールについて

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
5	10月26日(水)	・総務部会及び業務部会報告 ・平成23年度9月事業実績について ・「シルバーフェスティバル 2011」の開催結果について
6	11月24日(木)	・総務部会及び業務部会報告 ・平成23年度10月事業実績について

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
6	10月26日(水)	・事故状況について ・審議事項
7	11月24日(木)	・事故状況について ・審議事項

独自事業のご紹介

独自事業とは会員の就業機会を広げるため、センター会員が独自の創意と工夫により企画し、自ら実施する事業です。

会員の皆様も、独自事業についてアイディアやアドバイスがありましたら、是非ご連絡ください。受注が減少しているなか、独自事業を育成し、発展させ、会員の就業機会の拡大を図りたいと考えております。

当センターでは、「市民パソコン教室」・「東支部パソコン教室」・「シルバー農園」を独自事業としておこなっていますので、紹介いたします。

「市民パソコン教室」

平成 18 年 10 月から久保代表が中心となり講師 8 名で、事業を運営しています。

初めての独自事業なので、企画から資金調達など試行錯誤の連続で、初めの頃は大変な苦勞をされたそうです。

平成 20 年頃から軌道に乗り、手狭だった教室も今年 9 月に同じ西支部内の広い部屋に移転し、より多くの受講生が授業を受けられるようになりました。

現在 12 名の講師全員が、MOM（スペシャリスト）と IT リーダーの資格を持っており、親切で解りやすい授業は、多くの受講生に喜ばれています。

教室には同じ機種のパソコンを 23 台用意していますので、持ち込みの必要はありません。

パソコンは素晴らしい機能を持つ機器であり、学ぶ事により楽しみが増して、新しい人生が開けてきます。これから始めてみたい方、もっと使いこなして楽しみたい方は、受講されたらきっと上達されると思います。

受講料は 1 講座 5 回セットで シルバー会員は 5,000 円
一般市民の方は 6,500 円です。

住所 西区姪浜 4-8-28 シルバー人材センター西支部内
お問い合わせ、申込先は 092-852-7217 久保 弘代表まで
ホームページ <http://www.pc-netschool.com>



平成 23 年度高齢者パソコン教室のお知らせ

「市民パソコン教室」では福岡市から初心者を対象とした「高齢者パソコン教室」の開講を委託され、各区の老人福祉センターなどで出張講座をおこなっています。すでに西区、中央区、博多区は終了しましたが、その他の区は順番で、来年 3 月まで開講しています。日程や詳しい内容については、電話 092-881-7266 までお問い合わせください。



「東支部パソコン教室」

「東支部パソコン教室」は同好会からはじまりましたが、平成 20 年 4 月に、独自事業として再スタートしました。

現在、講師は 3 名です。

場所 東支部事務所 2 階会議室

授業 週 2 回、火曜日と木曜日の午後におこなっています。

受講料は シルバー会員は 1 ヶ月 3,000 円

一般市民は 1 ヶ月 3,500 円です。

パソコンは、受講者が持参した機種を使用しています。事業を展開して年数が浅いため、PR 不足や教室にパソコンを設置していないなど、不便な点がありますが、内容を充実すべく努力しているところです。

少人数の家庭的なムードで、気兼ねなく受講できると喜ばれています。気軽にお問い合わせしてみてください。

お問い合わせ、申込先は 東支部 092-624-4680 です。



「シルバー農園」



「シルバー農園」は、平成 22 年 12 月に事業を開始しました。

場所は東区和白、塩田跡の和白干潟で、現在は一面畑になっています。個人で所有されている休耕地（約 180 坪）をお借りしているそうです。

会員 10 名で、シーズンごとに、里芋、さつま芋、深ネギ、玉ネギ、人参などの根菜類を主体に植え付けをしています。今年も玉ネギを 11 月に 2,500 本ほど植えました。

現在、会員もまだ農作業に慣れておらず、耕作面積も少なく、作物の選定など、研究の段階ですが、将来はよい作物を生産し、販路を拡張したいと頑張っています。

平成23年度 実績報告

平成 23 年 10 月末現在 ●会員数 7,279 名 ●就業者数 4,954 名
 男 性 4,793 名 ●就 業 率 55.2% (月平均)
 女 性 2,486 名 ●事業収入 12 億 7,330 万円

平成23年度 事故発生状況

平成 23 年 10 月末現在 ●傷 害 事 故 13 件 (前年同期 22 件 前年度比 - 9 件)
 ●賠 償 事 故 14 件 (前年同期 19 件 前年度比 - 5 件)
 ●自動車事故 9 件 (前年同期 14 件 前年度比 - 5 件)
 ●累 計 36 件 (前年同期 55 件 前年度比 - 19 件)

■傷害事故 (9 月 1 日～ 10 月末日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	部位	症状	障害の程度		
								入院	通院	手術
9/7	就業中	男	69	刈払除草	芝刈機で後退しながら方向転換中に、誤って機械と共に川に転落した。	両脛	打撲		○	
9/9	就業中	男	76	屋外清掃	マンション清掃で水を流す作業中に腰をひねる。数日後、うずく痛みとなり受診した。	腰	捻挫		○	
9/15	就業中	男	74	剪定	剪定の残滓を処理場で車から降ろすとき、太い枝が足下に落下した。	足指	骨折		○	
9/28	就業中	女	69	屋外作業	リサイクルセンターで分別作業中に、ダンボール箱に足を取られ転倒した。	大腿骨	骨折	○	○	

■損害賠償事故 (9 月 1 日～ 10 月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
9/26	男	69	刈払除草	刈払作業中に、防御ネットを飛び越え刈払機による飛石が発生、駐車中の車両の右側後部ドア窓ガラスを破損した。
9/27	男	68	屋内作業	倉庫内でダンボール箱に入ったビールの移動作業中に、身体のバランスを失い箱を床に落とし中身のビールが破損した。
9/29	男	65	刈払除草	刈払作業中に、芝刈り機による飛石が発生、駐車中の車両の後部窓ガラスを破損した。
10/7	男	66	刈払除草	刈払作業中に、防御ネットの隙間より刈払機による飛石が発生、公衆電話ボックスの窓ガラスを破損した。
10/29	男	76	刈払除草	刈払作業中に、防御ネットを飛び越え刈払機による飛石が発生、停車中の車両窓ガラスを破損した。

■自動車事故 (9 月 1 日～ 10 月末日)

期間中、事故はありませんでした。



自転車安全利用5則

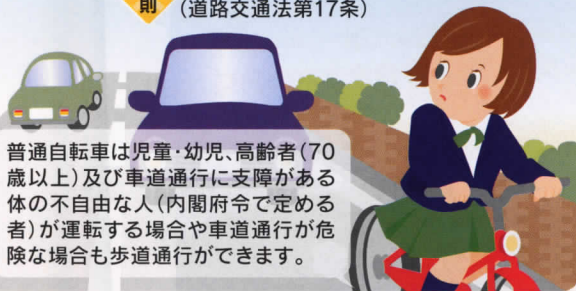
自転車の
基本的な
通行ルール

自転車は道路交通法で車両とみなされます。違反すると法律により罰せられることがあります。

1

自転車は、車道が原則、歩道は例外

罰則 3箇月以下の懲役又は5万円以下の罰金
(道路交通法第17条)



2

車道は、左側を通行

罰則 3箇月以下の懲役又は5万円以下の罰金
(道路交通法第17条)



3

歩道は、歩行者優先で、車道寄りを徐行

罰則 2万円以下の罰金又は科料
(道路交通法第63条の4)



上の標識のある歩道は自転車が行きませんが、歩行者の邪魔になるときは一時停止しましょう。

4

安全ルールを守る

飲酒運転の禁止

罰則 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
(道路交通法第65条)

酒に酔った状態で運転した場合



二人乗りの禁止

罰則 2万円以下の罰金
(道路交通法第57条)



並進の禁止

罰則 2万円以下の罰金又は科料
(道路交通法第19条)



夜間はライトを点灯

罰則 5万円以下の罰金
(道路交通法第52条)



5

子どもは、ヘルメットを着用

児童(13歳未満)・幼児を自転車に乗車させる時は、ヘルメットをかぶせるように努めなければなりません。



[参考:福岡市交通安全推進協議会]

互助会だより



ゴルフ大会報告

10月19日(水) 筑紫ヶ丘ゴルフクラブ



平成23年10月19日秋晴れの下、昨年に続き筑紫ヶ丘ゴルフクラブにおいて、第9回の大会を開催いたしました。

参加者は39名でしたが、各支部から参加され、プレーは和気藹々の中で進み、無事ホールアウトする事ができました。

ホールアウト後、荒木代表幹事の挨拶に続き、中央支部グリーン会の多田さんから成績発表があり、大いに盛り上がりました。

主な成績は以下のとおりでした。

優勝 森 忠民(南支部) 準優勝 小田 武士(南支部)

3位 中村 憲二(南支部) 5位 多田 晴彦(中央支部)

ベスグロ 中島 正人(南支部) 以上の方々でした(敬称略)。



解散の後、担当支部での話の中で「支部対抗戦ができれば更に盛り上がるだろうなあ」……参加された会員の方どう思われますか？

中央区業務委員 原口 昌士

互助会だより

歴史探訪報告

平成23年11月25日(金曜日)天候 晴れ
博多区冷泉公園に9時30分集合し、公園を10時出発の1時間30分コースで歴史探訪を実施しました。

朝、肌寒い中一番先に8時40分頃にみえた女性、東区の方で素敵な笑顔の元気な声で挨拶され、今日も元気で頑張ろうと思いました。

昨年より2ヶ月遅い歴史探訪参加申し込みでしたが、昨年より多くの会員の皆様に参加いただき、ありがとうございました。受付、会費の回収等皆様の協力によりスムーズに終わり、各班ごとの出発も早くなりました。

博多歴史探訪は3コースに分けました。

- 1 博多神社コース
参加者108人、ガイド7人、7班にてスタート。
- 2 商都博多コース
参加者72人、ガイド5人、5班にてスタート。
- 3 中洲今昔物語コース
参加者52人、ガイド3人、3班にてスタート。



昨年はガイドが5人でしたが、説明の声など全員に届かず、後方の人にはただ歩いているだけの様子や、集団人数が多いと安全面にも問題があるため、観光協会より15人に1人のガイド要請がありました。今回、安全面においては互助会業務委員は目くばり、気くばり、心くばりに努力しました。事故も無く会員の皆様に感謝致します。

会員へインタビュー

〔その1〕 神社コース参加の女性グループは、「自分達の希望した神社の説明がなく残念でした。しかし来年の楽しみにします」との声でしたが、一日楽しかった様です。
〔その2〕 商都博多コースの女性グループは、はかた伝統工芸館の入口で帯の織り方の説明を真剣に聞いて予備知識を得て、博多織の大きな特長を学び喜んで帰りました。

会員の皆様互助会の歴史探訪に参加頂き、本当に心から感謝致します。何かと不備な点についてはお詫び申し上げます。

最後に、ご意見ご希望など有りましたら各支部互助会業務委員までご連絡下さい。

城南区業務委員 神園 久

名島水上飛行場



昭和4年に名島城址の近くに国立名島水上飛行場が建設され、11月に大阪から日本航空輸送会社の水上機が空中輸送されて大阪や上海との定期輸送路が開かれました。昭和2年に大西洋横断に成功し「翼よあれがパリの灯だ」の飛行士リンドバーグ氏が夫人を伴って昭和6年に北大西洋を横断し霞ヶ浦・大阪経由で名島水上飛行場に飛来、のち南京へと向かいました。その後陸上飛行場が必要になり、昭和11年に当時の糟屋郡和白村大字雁ノ巣に福岡第一飛行場が建設され、名島水上飛行場は福岡第二飛行場となり、昭和16年頃に名島水上飛行場は閉鎖となりました。現在は埋め立てて城浜団地となっていますが、団地一角に跡碑が残っておりリンドバーグ通りとして名をとどめています。(参考:80周年記念資料・名島校区自治協議会・名島公民館)

名島橋 (東区国道3号線)



名島橋は多々良川に架かる道路橋として昭和5年に着工(1930年)昭和8年(1933年)に完成した当時としては珍しい鉄筋コンクリート製で全面を御影石で覆われた7連のアーチ橋です。全長201.1メートル、全幅24メートル、6車線道路は当時としては他に類もなく市民も

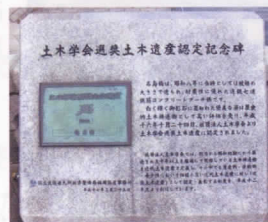
驚嘆、軍用道路説・路面電車説・代用滑走路説・耐関東大震災説など謎とロマンの多い橋です。

土木学会選奨土木遺産にも認定されており架橋78年を過ぎても重厚感あふれる橋として

多くの市民に親しまれており、平成9年には都市景観賞を受賞。福岡のシンボルとして親しまれています。一度立ち寄って、7連の橋げたを眺めて観られてはいかがでしょうか。

新潟の万代橋(昭和4年完成)は6連のアーチ橋で名島橋設計の参考にした橋といわれ名島橋架橋60周年を契機に兄弟縁組のセレモニーが行われました。毎年12月の福岡国際マラソンの実況中継点としても知られています。

(参考:名島橋歴史ロマン・国土交通省福岡国道工事事務所)



会員のひろば



会員親睦旅行、旅の行先々を見物しながら句にしました。

仏様 願かけ一つ 奥の院

阿蘇巡り 親睦深め 秋の宴

根子岳や 雲海絶景 草千里

南支部 尾田 勝也

秋の蝶 浄土の風に 吹かれをり
冬ぬくし われ七十路に 母の在り
冬に入る 無心に轆轤^{ろくろ} 回しをり

南支部 高瀬 章子



園児達が芋掘りをして喜んでいる時の
場面を見ながら句にしました。

園児の手 芋掘りあてて 声はずむ
芋掘りて 背中^{せな}をのばせば 秋の空
落葉達 風に吹かれて 舞いおどる

中央支部 菅 安子

会員のひろばへの投稿をお待ちしています。写真など何でも結構ですので、ふるってご応募ください！なお、応募作品が「会員のひろば」に掲載されると、薄謝を進呈いたします。

大事なお知らせ

先日郵送しました文書は、ご覧になりましたか。シルバーの運営を続けていくためには、公益社団法人の認定が必要です。趣旨をご理解の上、ハガキの返信がまだの方は、**至急** ご返送くださいますようお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

配分金にかかわる確定申告について

シルバー人材センターから支払われる配分金は、所得税法上では「雑所得」として取り扱われます。従って、次に該当する場合、確定申告の必要がありますので、ご注意ください。

「雑所得控除」＝「必要経費等の控除」：就業の際の交通費等は、この「必要経費等の控除」に含まれる。

収入が配分金だけの場合 1年間の配分金合計が103万円を超える場合

所得税額＝（配分金－雑所得控除：65万円－基礎控除：38万円）×所得税率

配分金の他に、公的年金収入がある場合

所得税額＝{(配分金－雑所得控除：65万円)＋(公的年金等－公的年金等控除額)－基礎控除：38万円－その他の所得控除}×所得税率

公的年金等控除額

65歳未満の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
130万円未満	70万円
130万円以上～410万円未満	年金収入×0.25＋37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15＋78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05＋155.5万円

65歳以上の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
330万円未満	120万円
330万円以上～410万円未満	年金収入×0.25＋37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15＋78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05＋155.5万円

その他の所得控除

例) 扶養控除：控除対象配偶者及び扶養親族等の扶養者数に応じた控除

扶養控除額＝
被扶養者1人あたりの控除額×扶養人数

被扶養者1人あたりの控除額

区 分			控除額	内 容
控除対象 配偶者	一般：70歳未満	通常	38万円	配偶者控除
	老人：70歳以上	通常	48万円	老人配偶者控除
扶養親族	一般：0～15歳 及び23～69歳	通常	38万円	扶養控除
	特定：16～22歳	通常	63万円	割増扶養控除
	老人：70歳以上	通常（一般）	48万円	老人扶養控除
		通常（同居）	58万円	老人扶養控除＋ 老親控除（10万円）

配分金収入、公的年金収入以外に収入がある方は、事例の取扱いとは異なります。詳細につきましては、最寄りの税務署にご相談ください。

※配分金等の個人情報の取り扱いについて

配分金等の個人情報は、個人情報保護法第16条・第23条により、国等の機関（税務署や市町村等）から情報の開示を求められた場合は、情報提供に応じる可能性がありますので、ご了承ください。

東日本大震災で津波にさらわれた母親に、愛海ちゃん(5)は手紙を書いています。「ままへ。いきているといいね おげんきですか おりがみとあやとりと ほんよんでね」と。私は思わず涙しました。今は祖母と一緒に生活しています。時々悲しみに涙ぐむ孫娘に、「お星さまになったんだよ」と話しかけると、しばらく星空を眺めてうなずくそうです。大津波で軒並み倒された中、1本だけ残った松があります。この生命力は多くの人々に力を与え、新たな希望を見出しています。「愛海ちゃん、がんばって」と末永く声援を送り、見守り続けます。あなたの心だけは流さないでね。
(T.I)

編集
後記